

北日本漁業経済学会 三五一及七多一

常任理事会は今年度第40回大会の計画等について検討し、下記のように今年度は「東日本大震災による被災漁業・漁村の復興構想と実現への課題」と題して、シンポジウムを企画することとしました。また、今大会はシンポテーマにふさわしく、被災地・宮城県（仙台市）の東北大学農学部で開催致します。以下、現時点での企画案をお知らせします。

北日本漁業経済学会 第40回大会（宮城県・仙台大会）計画

1. 会場及び開催日程

会 場 宮城県仙台市 東北大学農学部

日 程

10月21日（金） 理事会 18時～20時
場 所：東北大学農学部・（未定）

10月22日（土） シンポジウム 13時～17時
場 所：東北大学農学部・第1講義室

懇親会；18時～20時 （場所：東北大学農学部生協食堂）

10月23日（日） 一般報告 9時30分～16時30分頃まで
場 所：東北大学農学部・第1講義室

2. シンポジウムテーマ

「東日本大震災による被災漁業・漁村の復興構想と実現への課題」

コーディネーター：二平 章（茨城大学地域総合研究所・漁業情報SC）
片山知史（東北大学大学院農学研究科）

趣旨説明 二平 章

<報 告>

1. 復興構想議論の特徴と課題

広吉勝治（北海道大学）

2. 石巻・気仙沼・女川を中心とした水産業集積地域の復興構想協議と課題

馬場 治（東京海洋大学）

3. 岩手県養殖漁業地帯における復興プランの作成と課題

浜田武士（東京海洋大学）

4. 福島県における漁業・漁村の被害状況と復興への課題

井上健、小山良太、阿部高樹（福島大学経済経営学類）

県内の漁業地区における震災による被害状況、その後の原子力発電所関連の影響についての概況を報告する。更に、操業再開に向けて動いている2つの漁業地区（相馬、いわき）について復旧状況と再開に向けた課題についての報告を行う。

<討 論> 座 長；片山知史

開催趣旨：

東日本大震災は東北の漁業・漁村に未曾有の大被害をもたらした。漁業被害は漁船が約1万9000隻、被害漁港が319箇所、養殖施設はほぼ全滅に近い。4月11日に首相の私的諮問機関として設置された東日本大震災復興構想会議は6月末に「復興への提言」をまとめ、さらに、岩手、宮城、福島の各県も独自の「復興計画」を発表した。さらに、市町レベルでも「復興会議」を設置して復興構想、復興プランを議論・作成にあたっている自治体もある。震災から6ヶ月、それらの復興プランがほぼ出揃う形となった。そこで、本シンポでは、復旧・復興をめぐる国・県・市町それぞれのレベルの計画の内容と作成過程の議論を検討し、構想・プランの問題点、実現への課題をさぐる。

3. 一般報告の募集

第40回大会での一般報告を募集します。一般報告を申し込む方は、報告のタイトル及び報告者の氏名・所属を明記した報告要旨（原則としてA4・1枚以内）を、事務局・宮澤（北大農学部住所）までメールまたはFD等でお送り下さい。

一般報告・要旨の提出期限は、9月30日（金）とします。

会員諸氏多数の申込みを期待しております。

<編集委員会からのお詫び>

学会誌・北日本漁業第39号の発行が大変遅れてしまったことを会員諸氏に深くお詫び申し上げます。今回は東日本大震災の影響等により、一部の方の原稿提出が大きく遅れる等、幾つかのアクシデントが重なりました。しかし、編集委員会の力不足や不手際も大いに問題とされねばなりません。これをきちんと反省・総括し、このようなことが二度と生じないよう編集体制を強化していきたいと考えております。申し訳ありませんでした。

北日本漁業経済学会事務局（事務局長；宮澤晴彦）
〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目
北海道大学大学院農学院 水産資源経営学分野
TEL/FAX 011-706-4139
〒041-8611 函館市港町3-1-1
北海道大学水産学部 海洋社会科学分野
TEL 0138-40-8834 FAX 0138-40-8835
E-mail miyazawa@fish.hokudai.ac.jp